



富良野GROUP公演 2013冬

あした
明日

かなしげ
悲劇で

作・演出 倉本聰

2013.2.23(土)

14:00開演 (30分前開場)

すばるホール2Fホール

全席指定

前売	一般	3000円 (当日3500円)
	高校生以下	1800円 (当日2300円)
	ペア券	5500円 (前売のみ、2名様)
	トリプル券	8000円 (前売のみ、3名様)
	ダブルペア券	10000円 (前売のみ、4名様)

11月18日(日)一般発売開始
11月11日(日)すばる友の会先行発売開始
各発売初日の会館販売は特設電話受付のみ 0721-26-2060 (10:00 ~ 17:00 までの受付)

※6歳未満のお子様の入場はご遠慮ください
※トリプル券とダブルペア券は、すばるホールチケットカウンターのみ取り扱い

すばるホール

☎0721-26-2060

FAX/0721-25-0550
大阪府富田林市桜ヶ丘町2番8号

■チケット販売所

すばるホール (チケット専用) 0721-26-2060 / ラブリーホール / SAYAKAホール / LICはびきの
ピュア金剛 (金剛公設市場) / 喫茶コンゴ (富田林市役所内) / レインボーホール (富田林市市民会館) / エコール・ロゼ
チケットびあ 0570-02-9999 (Pコード424-909) / ローソンチケット 0570-084-005 [Lコード54776]
CNプレイガイド 0570-08-9999 / e+ <http://eplus.jp>

作・演出
倉本 聰



1935年、東京都出身。脚本家・劇作家・演出家。東京大学文学部美学科卒業後、1959年ニッポン放送入社。1963年に退社後、脚本家として独立。1977年、富良野に移住。1984年から役者やシナリオライターを養成する私塾「富良野塾」を主宰。代表作に「北の国から」「前略おふくろ様」「昨日、悲別で」「ライスカレー」「優しい時間」「風のガーデン」など多数。2006年より「NPO法人C・C・C富良野自然塾」も主宰し、閉鎖されたゴルフ場に植樹をし、元の森に返す自然返還事業と、そのフィールドを使った教育プログラムにも力を入れている。2000年 紫綬褒章受章、2010年 旭日小綬章受章。

出 演 富良野GROUP

倉本聰氏が主宰する“富良野塾”を卒業し、研鑽を重ねた俳優とライターによる集団。

原型となった“富良野塾”は倉本聰氏が塾長として、プロの脚本家と役者を育成するべく北海道・富良野市の山間に1984年に開塾した私塾で、375名の若者達が自然と共生した環境の中で“創作”に対する多くのことを2年間の合宿生活の中で学び、卒業生の多くは現在も主に舞台や映像の現場で良質の仕事に携わっています。

富良野塾の舞台作品の魅力の一つに、倉本塾長が長年ドラマの世界で培った映像表現を大胆に舞台に取り入れた点があります。その映像的な独自の舞台空間の表現術は“観せる芝居”として多くの観客の心をとらえ、「今日、悲別で」「ニングル」は言葉の壁を越えて広く海外でも上演され絶賛を持って迎えられました。

2010年春、26年の歴史に幕を下ろした富良野塾。幕を下ろしたと言っても活動を休止するわけではなく、プロの世界で羽ばたき始めた塾生OB達を更にサポートし、本当の実力をつけさせたいという倉本塾長の願いが結実したものです。いわば富良野塾のステップアップで、表現者のプロ集団として心機一転さらなる高みを目指して、倉本塾長以下一丸となって芝居作りに創作活動にと、日々精進しているのが“富良野GROUP”です。

今後は、富良野塾OBだけでなく、外部からも志の高い俳優や裏方を迎え、創作意欲を互いに益々高め合うことを目指しています。

一体この国に神様はいるのかよ！
何万人のふるさとをうばって、
——結局誰一人救うこともできずに、それでも本当に神様はいるのか！
いるなら余っ程どうかしてるぜ！

二十年前に閉山した炭坑の町、悲別。
散り散りになった若者たちは、2011年大晦日、閉山の日の約束を守って今や破綻寸前のこのふるさとに集ってくる。

彼らの交した約束とは、大昔この炭坑の第一坑道の地下三百メートルの地底に先人達が埋めたという「希望」を封印したタイムカプセルを、みんな探して潜ろうということ。

だが二十年の年月は、若者たちを変えてしまっている。福島の原発労働者となって津波と爆発に遭遇した者、懸命にふるさとにしがみつき空しい町おこしに励む者、そしてこの町の町会議員になり、原発汚染の福島の瓦礫を引き受け、廃坑の地下一千メートルに石棺に入れて閉じ込めようと策す者。

三百メートルの地下に希望があり、千メートルの地下に今絶望を埋めようとしている悲別。

約束を守った二人の若者が、空しくしか思えない希望を求めてかつてのなつかしい第一坑道へ二人っきりで入って行った。

